

クリアファイルの白版(白引き)の作成手引き

■白版(白引き)とは

- デザインや写真画像、イラストに白色がある(表現させたい)場合
クリアファイル素材色は透明なので、白色をデザインとして使用する場合、白色印刷が必要になります。
- 書類を透けにくくさせたい場合
中に入れる書類を透けにくくしたい場合には白印刷を施します。

■白版データの作り方

PP 素材であるため印刷時に伸縮が起こります。そのため、プロセスデータの絵柄と同じ大きさに白版を作成されますと、ズレによって白がはみ出てしまいます。 **白版の絵柄はプロセスデータの絵柄より「-0.1mm」内側**に入れて作成してください。

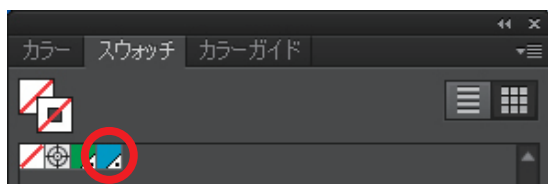
clear file

青：パスのオフセット 0.1mm 内側
ピンク：プロセスの文字

clear file : プロセス(CMYK)データ
clear file : 白版データ

▲絵柄と白版(DIC100 s)を重ねた場合の見え方

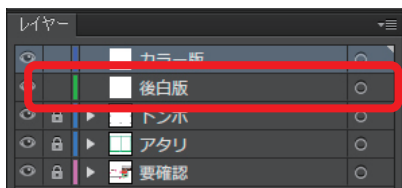
白版の色はスウォッチ内の「DIC100 s」(水色の特色)で作成をしてください。



※白版を作成する際、小さい文字、野線など細いデータは印刷できませんのでご了承ください。

作成方法

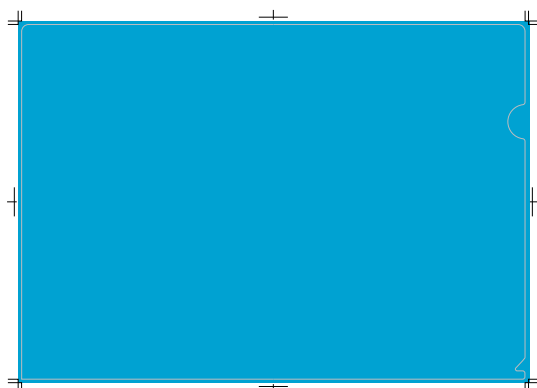
- ・制作された同じイラストレーターファイルの白版用レイヤー上のパスで作成してください。
- ・「元の絵柄コピー」→「後白版レイヤー」→「ペースト」→「オブジェクト」→「パス」→「パスのオフセット-0.1」を入力
- ・パスのオフセット幅を実際のデータから内側に0.1mm入れて作成してください。



■白版作成の様々なパターン

1 全面に白を引くと透けにくくなります

仕上がりイメージ



白版展開図



裏

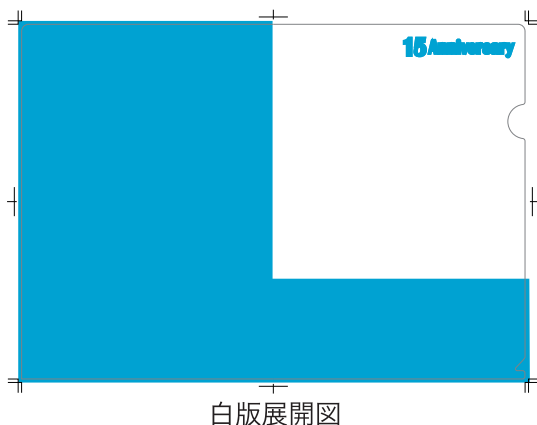
表

白を全面(表・裏)に印刷することにより中の書類は透けにくくなります。

※白引きした部分は完全に不透明にはなりません。

2 白を引かない部分のみ透けます

仕上がりイメージ



表面は右上のロゴ部分と下の写真部分に白を印刷し、裏面は全て白を印刷します。白を印刷していない部分は透明になりますので、表面から見て白を印刷していない部分だけ、中の書類が透けます。
※白引きした部分は完全に不透明にはなりません。

3 文字と画像以外は透けます

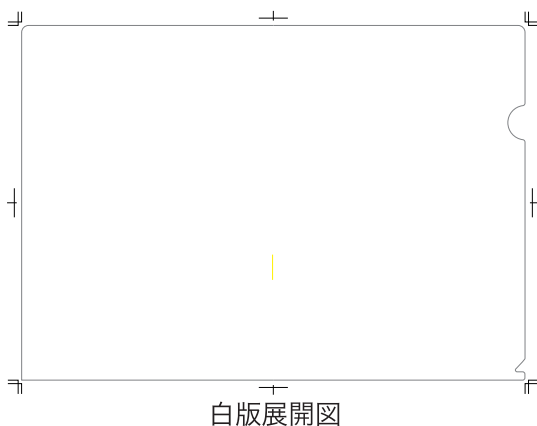
仕上がりイメージ



表面は右上のロゴ部分と下の写真部分に白を印刷し、裏面は文字の部分に白を印刷します。白を印刷していない部分は透明になりますので白を印刷していない部分だけ、中の書類が透けます。
※白引きした部分は完全に不透明にはなりません。

4 全面に白を引かないと全て透けます

仕上がりイメージ



全面に白を印刷していないので透明になります。中の書類が全て透けます。